

老朽化した県営住宅を生活様式に対応した団地にリニューアル

— 県営都和アパート建替事業 (土浦市) —

事業の目的

老朽化した住戸 (25棟361戸) について、社会情勢の変化に対応するため、**高齢者や単身世帯などにも配慮**したうえで、間取りの変更のほか、省エネ化、木質化などに取り組みながら、**現代の生活様式に対応した住戸へ全面的にリニューアル**しました。

事業の概要



建替前

建築年
昭和45年
~49年
低層住宅
17棟 91戸
中層住宅
8棟 270戸

建替後

建築年
平成15年
~令和6年(予定)
中層住宅
10棟 232戸



社会情勢の変化1：自家用車保有率が上昇

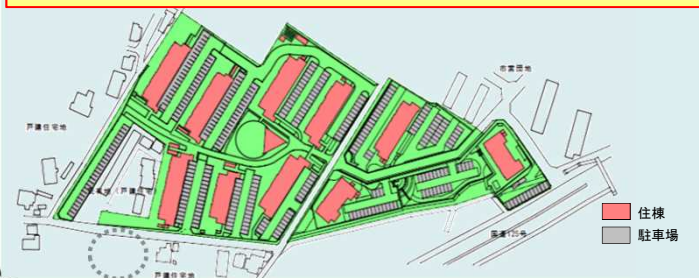
→対応：車の使用を重視した駐車場配置

建替前

駐車場が少ない...
建物から遠い...(一部敷地外)



建替後 各住棟の近くに1戸1台以上確保!!

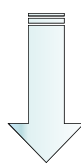


社会情勢の変化2：ライフスタイルの変化

→対応：時代のニーズにあった間取りへ

建替前

7割が和室+キッチン
(2K・3K) タイプ



建替後

全てDK・LDK
(1LDK~3DK)に!
部屋はフローリング化

(数字)：部屋数
L：リビング
D：ダイニング
K：キッチン

間取り	戸数
2K	70戸
2DK	40戸
3K	180戸
3DK	58戸
4DK	1戸
計	349戸

3Kタイプ

間取り	戸数
1LDK	4戸
2DK	141戸
2LDK	67戸
3DK	20戸
計	232戸

2DKタイプ

社会情勢の変化3：環境への配慮

→対応：CO₂排出量削減の取組

- 高断熱化により省エネ性能の向上
- 県産木材を活用し温かみのある住戸へ



社会情勢の変化4：入居者の高齢化

→対応：高齢者に配慮したバリアフリー化

